



「みんなが輝く羽村二中」  
**清 風**

令和8年2月2日  
学校だより2月号  
羽村市立羽村第二中学校

## 学校評価アンケートの集計結果

副校長 佐藤 隆史

日頃より、本校の教育活動に御理解いただきありがとうございます。昨年末に実施しましたアンケート結果をまとめました。回答率は二中全体で54.6%（前年度比10.1%アップ）となり、短い期間ではありましたが、保護者の皆様には御協力いただき感謝いたします。

アンケートの集計結果から、特に「学校経営方針」に関する項目（6点）について取り上げます。全項目の結果は、学校ホームページに掲載していますので、御覧いただけると幸いです。

### 「小中一貫教育」について

「学校が、小学校と中学校の教育をつなぐため、乗り入れ授業等（小学校の児童会と一緒に挨拶運動を行う等）をしていることを知っている」について、保護者のプラス回答（よくあてはまる、ややあてはまるの合計）は90%（前年度比1%アップ）でした。今年度も、本校の数学科・英語科教員が富士見小学校、栄小学校、松林小学校で乗り入れ授業を行いました。加えて、3つの小学校の挨拶運動に中学生も参加し、小学校の児童や先生と触れ合いました。また、今年度は12月に職場体験報告会、生徒会と児童会の交流会（ハートフルミーティング）を6年生対象に行いました。この後、2月末は中学校で体験授業も予定されています。今後も二中校区での小中一貫教育を更に進めていきます。

### 「確かな学力の定着」について

こちらの質問項目は昨年度と変わり、「学校は、生徒の確かな学力の定着に向け、授業の流れを示し、見通しをもって生徒が学習を進められるようにするなど、授業の工夫や教材の開発を行っている」という文言になりました。質問内容が変わったので前年度比は出せませんが、保護者のプラス回答は75%でした。生徒については91%がプラス回答をしてくれました。保護者からは、否定的というより「わからない」という意見が多くありました。教育委員会にも全教員の授業を見てもらい、「どの授業も目標・流れが明示され、工夫して授業を行っている」と評価してもらいました。学校公開のアンケートでは、授業について良い評価をしていただくことが多く、教員も励みになっています。

### 「人権教育・道徳教育」について

「学校は、自他を大切にする心やきまりを守って生活する態度、物事の善悪を判断する力等の育成について、授業を通して適切に行っている」について、保護者のプラス回答は81%で、生徒のプラス回答も91%でした。本校では、人権尊重教育に力を入れて、授業や行事等の教育活動を行っています。これらの取組がよく伝わっていることが分かる結果となりました。生徒については、相手を思いやる力の育成、他者に感謝する心の醸成を重点に取り組みました。教員については、生徒や保護者の立場に立った姿勢、生徒の良さを伸ばす指導の工夫等に力を入れてきました。今後も、これらのことを中心にして、引き続き人権尊重教育や道徳教育を更に推進していきます。

## 「いじめ・不登校対応」について

「学校は、生徒や保護者の相談に対して親身に対応し、いじめや不登校などの防止や対応を適切に行う努力をしている」について、保護者のプラス回答は79%（昨年比6%アップ）で、生徒のプラス回答は82%でした。昨年度に比べて保護者からのプラス回答が伸びました。いじめや不登校については、生徒や保護者とのコミュニケーションを重視して進めています。担任だけでなく、スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）にも協力してもらい、組織的な対応を行っています。また、今年度から不登校巡回教員も配置され、1学期は週1回、2学期からは週2回の勤務をしてもらっています。不登校だった生徒が、登校できるようになってきています。

## 「教育活動の公開」について

「学校は、学校の様子を積極的に伝え（学校公開、学校だより、学校公式サイト等）、教育活動の公開に努めている」について、保護者のプラス回答は89%（前年度比と同値）でした。昨年度に引き続き、高い評価をいただきました。学校ブログにおいて、生徒・保護者・地域の方々に向け、学校の様子を毎日更新しています。何人かの生徒・保護者・地域・教育委員会の方からは「ブログを楽しみに毎日見ています」という声もかけてもらっています。これからも、学校の様子や活動について、できるだけ皆様に伝えられるようにしていきます。また、今年度から、保護者連絡ツール「まなびポケット」が市内の学校で導入され、少しずつ軌道に乗ってきています。御協力に感謝します。

## 「生徒は、家庭学習をする習慣が身に付いている」について

保護者のプラス回答は59%、教員のプラス回答は47%となっている一方、生徒のプラス回答が70%と高くなっています。保護者と教員は家庭学習が足りないと感じていますが、生徒本人は家庭学習をやっていると思っているところに隔たりがあります。本校では、毎週月曜日に放課後学習教室を地域の方を招いて行っていますが、参加生徒が減ってきています。また、定期考査前にゆとりで行っている学習教室も参加生徒が減ってきています。以前は、ゆとりのフリースペースで学習をしている生徒をたくさん見ることができましたが、最近はそこで学習する生徒も少なくなってしまいました。家庭学習に対する生徒の意識を変えていくことも、今後の課題と考えています。

## 1年生スキー教室

1月19・20日に第1学年のスキー教室が山梨県ふじてんスノーゾートで行われました。生徒の皆さんには、学校集合6時40分で、10時半には最初のレッスンが始まりました。

2日間で4回のレッスンを行い、短い期間ながらも充実したスキー学習を重ねました。初めてスキーを行った生徒が帰ってきたときに「もう1日やりたかった！」と言っていて、良い経験ができたのではないかと思いました。1年生の皆さん、スキー以外でも仲間の良さなど学んだこともたくさんあったと思います。今後の学校生活に生かしてください。

